

平成28年度 第2回坂井輪地区公民館運営審議会 会議概要

実施年月日	平成28年12月7日(水) 午前10時～正午		
会場	坂井輪地区公民館 4階 講座室1	出席委員 7名	傍聴人 1名
出席者	委員		郷扶二子、伊藤智之、高橋真規子、土田幸子、横坂幸子、中島伸子、松尾雅美
	事務局	坂井輪地区公民館	阿部靖壽、白井嘉弘、高橋勇人
		西地区公民館	前田和隆、南部浩美
		黒埼地区公民館	鳴海俊明、小竹憲幸
		小針青山公民館	佐野憲昭、渡邊ますみ
議題	1 平成28年度西区公民館事業中間報告及び今後の事業について 2 公民館利用者拡大に向けた各館の取組について(意見交換)		
審議内容について以下に記載する。			
坂井輪地区公民館長あいさつ、議長あいさつに続き審議に入る。			
1 平成28年度西区公民館事業中間報告及今後の事業について 坂井輪地区公民館阿部館長、西地区公民館前田館長、黒埼地区公民館鳴海館長、小針青山公民館佐野館長の順で資料説明。各公民館では、市の基本方針に基づき、重点事業を主体に地域性を考慮した特色ある事業を実施するとともに、計画どおり進めている。			
2 協議(意見交換) 利用者拡大に向けた各館の取組 各館では各種講座参加者向けにサークル化を図っている。また、大学生を対象に事業チラシなどを配布し、公民館の利用者増を目指している。			
委員からの意見等 <ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用団体の減少に歯止めをかけるため、サークル化を目的として事業を実施。あるいは重点事業である家庭教育や各種講座の中でもサークル化を図っている。 ・市全体の予算が削減されている中で、オープンカレッジは新しい手法。 ・学校に進むと家庭教育学級というものが保護者の中で忘れられてきているように思う。小・中学校の保護者対象の家庭教育事業があっても良いのでは。 ・30代～40代を対象事業の応募状況は少ないようであるが、時間帯等を見直すなど可能性はある。継続して事業に取り組みをしては。 ・公民館を知らないという子どもや若者が多い。情報を得たい人に情報が伝わっているのか、HPやFBでもっとPRをしては。 ・予算が少ない中でそれぞれの館が創意工夫して事業計画し、活動協力員、ボランティア、利用者等が連携して公民館事業を展開している。 			
審議終了			